

## 【資料紹介】 <sup>かつ</sup> <sup>せき</sup> 滑石製品の再利用について

東 貴 之

平成12年に玖島城跡の発掘調査で滑石製石皿が出土している。遺物説明はすでに報告され、実測図が紹介されている。しかし、紙面の都合で写真図版を掲載できなかった。今回未収録の写真図版を公開し、若干の遺物の補足説明を行いたい。

当遺跡出土の滑石製石皿は石鍋を再加工したものである。その原因として、石鍋の胴部～底部の一部が破損したことが考えられる。再加工の際に生じたと思われる調整痕が、石皿の口縁～口唇部にかけて残っている。出土石皿の内・外面に擦過痕・外面にスス痕が認められるが、鍋としての使用痕かあるいは皿としてのものかは不明である。鍋・皿いずれにしても使用頻度は高かったことがいえる。

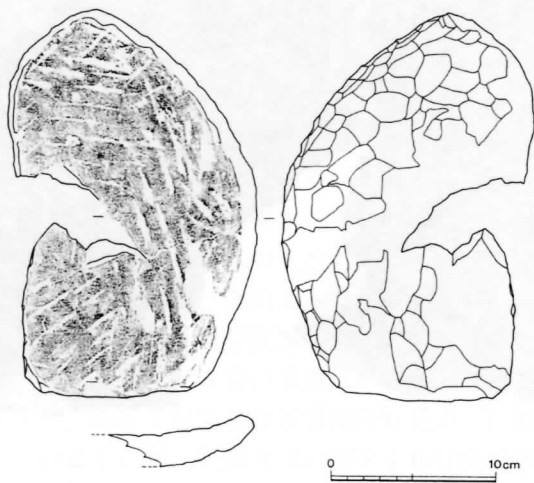
このように、滑石製品は大変貴重とされてきたことが考えられる。玖島城跡出土石皿は鍋→皿への器形変化によって滑石製品の再利用化を計っている。このほか補修による滑石製品の再利用化も存在する。穴があいた滑石製石鍋を、同じ滑石で塞ぎ補修した事例が挙げられる（註）。この場合、器形変化はなく鍋のままの状態である。したがって、滑石製品の再利用については、器形変化によるものと補修によるものとの2種類に分類される。今回、玖島城跡から出土した滑石製石皿は前者であることがわかる。

### 【註】

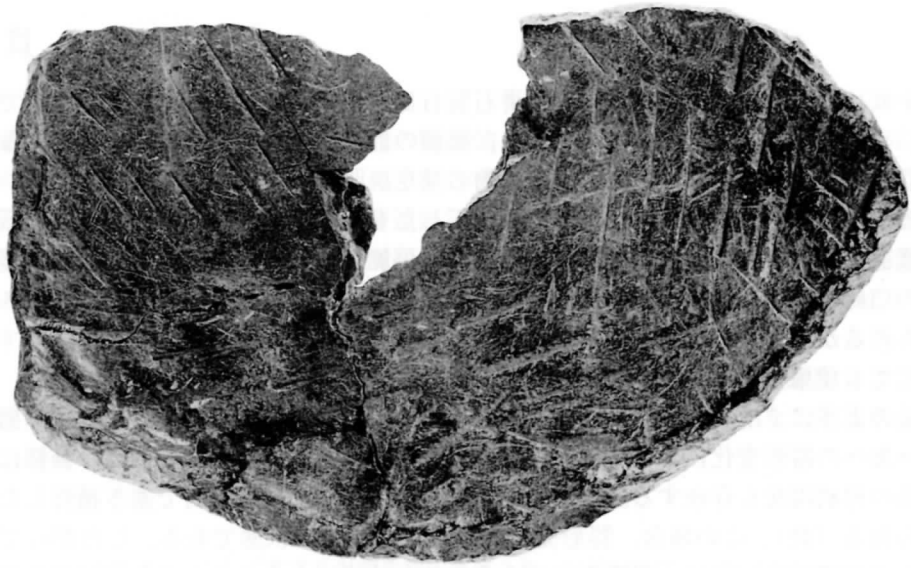
九州内出土の再利用された石鍋が紹介されている（徳永 1999）

### 【参考文献】

- 徳永貞紹 1999 「滑石製石鍋のリサイクル」『西海ニュース』12 西海考古同人会事務局  
東 貴之ほか 2002 「石皿」『玖島城跡』 長崎県教育委員会



玖島城跡出土石皿実測図（S=2/9）



玖島城跡出土石皿写真